

27.11.16
夕刊テレー

やなに掛かったウナギを放流する職員



水郷やなにウナギ60匹

でも採捕禁止 調査用除き放流

延岡

延岡市大貫町の大瀬川(大瀬大橋下流)に架かる延岡水郷あゆやなに14日、ウナギが60匹も落ちた。平成25年に環境省が絶滅危惧種に指定。県内の河川では、25匹以下のウナギは年間を通じて採捕禁止。25匹以上も10月から12月まで採捕が制限されている。同やな設置者の延岡観光協会は15日、調査研究用に6匹を県水産試験場に提供し、残りはすべて放流した。70匹、500匹の小型から、120匹、1.5匹の大型まであった。13日夜から14日朝にかけて、アユ約10匹と一緒に落ちたという。15日は、やなに食事に来た人たちが二重三重に人垣をつくって見守る中で放流した。同所では10月22日からやな漁が始まり、これまでアユ約300匹が取れている。